

教科目標

国語を適切に表現し正確に理解する能力を育成し、伝え合う力を高めるとともに、思考力や想像力及び言語感覚を養い、国語に対する関心を深め国語を尊重する態度を育てる。

基礎的・基本的な知識及び技能の習得、これらを活用して課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力その他の能力を育む

言語活動の充実

「話すこと・聞くこと」、「書くこと」及び「読むこと」の各領域では、日常生活に必要とされる記録、説明、報告、紹介、感想、討論などの言語活動を行う能力を確実に身に付けることができるよう、継続的に指導することとし、課題に応じて必要な文章や資料等を取り上げ、基礎的・基本的な知識・技能を活用し、相互に思考を深めたりまとめたりしながら解決していく能力の育成を重視する。

目的に合わせて書くことを選び、構成を考えて書く事例

- 1 学年 第5学年
- 2 単元名 活動したことを伝える文章を書こう「伝えよう、委員会活動」
- 3 単元の目標
 - (1) 報告の文章を書くために、書く事柄を収集し、全体を見通して事柄を整理することができる。(書くこと)
 - (2) 自分の考えを明確に表現するため、文章全体の構成の効果を考えることができる。(書くこと)
 - (3) 読み手に効果的に伝えるために写真や図表などを用いて書くことができる。(書くこと)

4 言語活動の充実の視点

- 視点1：読み手の興味を引くように、効果的な構成を考える。
 視点2：交流活動を通して、読み手としての立場からの助言や感想を得ることで、リーフレットの内容や表現を見直す。

5 主な学習活動（全9時間）

段階	学習活動
第一次 (1)	○教材のねらいと学習の流れを確かめる。 ・教科書や身の回りにある例からリーフレット作りのイメージを持つ。
第二次 (7)	○報告する内容を決めて、構成を考える。 ・報告する事柄をメモに書き出す。 ・必要な情報や資料を選び、リーフレットのレイアウトを考える。 ○リーフレットを作る。 ・見出しや図表・グラフ・写真などの資料を用いて、読み手に分かりやすい構成の工夫を考える。 視点1 ・考えたレイアウトに沿って、必要な文章や資料を入れてリーフレットの下書きを完成させる。 ○違う委員会の児童とリーフレットの内容・構成について交流する。 ・交流を通して得た助言を基に内容や表現を見直す。 視点2
第三次 (1)	○「4年生に伝える会」を開き、委員会活動を報告するリーフレットを下級生に紹介する。

単元を貫く言語活動

- 当該単元で取り上げる指導事項を明確にし、単元を貫いた言語活動を位置付けましょう。
- 言語活動が、単なる活動ではなく、児童にとって自ら学び課題を解決していく過程となるようにしましょう。

授業づくりのステップ

「B 書くこと」例

- Step1：当該単元での重点指導事項を確定します。(例：自分の考えを明確に表現するため、文章全体の構成の効果を考える。)
- Step2：付けたい力にふさわしい言語活動を単元に位置付けます。(例：自分の課題について調べ意見を記述した文章を書く。)
- Step3：言語活動を遂行するのに必要な能力を明確化・具体化します。
- Step4：必要となる能力を身に付けるための指導過程を構築します。(例：導入の工夫、交流場面の設定など。)

評価の観点

- 「国語への関心・意欲・態度」「話す・聞く能力」「書く能力」「読む能力」「言語についての知識・理解・技能」の各観点で評価規準を設定しましょう。
 単元の評価規準を設定する際は、当該単元で取り上げる指導事項を基に、言語活動を併せて設定しましょう。